

戦艦「ボロジノ」 唯一の生存者

日本海軍の完全勝利となった日本海海戦で、バルチック艦隊は戦艦七隻が沈没し、多くの戦死者を出しました。

転覆して沈んだ戦艦アレクサンドル三世などは、乗組員全員が戦死しています。転覆すると一瞬で沈没するため、逃げ出す時間がなかったのです。

ところが、同じく転覆した戦艦ボロジノでは、奇跡的に助かった乗組員が一人だけいました。

海戦時、バルチック艦隊の戦力は、戦艦八隻、巡洋艦九隻、海防艦三隻、駆逐艦九隻——主力の第一戦艦隊は、最新鋭の戦艦クニヤージ・スヴォーロフ、アレクサンドル三世、ボロジノ、アリヨールの四隻が並んでいました。

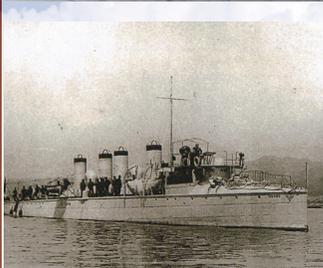
旗艦三笠率いる連合艦隊の攻撃が始まると、集中砲火を浴びた旗艦クニヤージ・スヴォーロフは、戦闘開始から三十分で戦闘不能に陥り、続くアレクサンドル三世もほどなく炎上。そのためボロジノが艦隊を先導し、砲撃の的となりました。ながらも四時間耐え続けます。

しかし連合艦隊の追撃を振り切ることができ

ず、午後七時十分頃、ボロジノは二度の大爆発を起こして転覆。艦首ケースメイト七十五ミリの砲手ユーシチェンコだけが助かりました。

彼はなぜ生き延びることができたのか。ボロジノ転覆時、なんとか脱出できた彼は、帆布の破片につかまり漂流。その近くを日本海軍の駆逐艦「隴」が通りかかりました。隴をロシア艦艇だと思ったユーシチェンコが、自艦の名を「ボロジノ」と叫ぶと、隴では自艦を呼ぶ日本兵が漂流していると思い救助したため、生き延びることができたのです。

「ボロジノ」と「隴」——二つの名の響きが似ていなければなら、奇跡の生存者はありえなかったのかもしれない。



戦艦ボロジノ(上)と駆逐艦隴(下)



三笠だより
記念艦三笠の艦内展示スペースには、帝国海軍や海上自衛隊、そしてロシア・バルチック艦隊まで、多数の艦艇模型が展示されています。

圧巻の艦艇模型

記念艦三笠の見どころは沢山ありますが、そのひとつは様々な展示品です。中でも圧巻なのは艦艇模型です。大日本帝国海軍の戦艦三笠以下、連合艦隊の各艦がずらりと展示されています。そして、それだけではなくロシア・バルチック艦隊の旗艦クニヤージ・スヴォーロフ他、主だったロシアの軍艦模型もまた見ることができのです。

もちろん今回の「こぼれ話」でもご紹介した戦艦ボロジノの模型もご覧頂けます。また、戦艦大和など昭和の帝国海軍、さらには現代の海上自衛隊のイージス艦まで、艦艇模型の数々を是非ご覧ください。



バルチック艦隊主力艦の模型

今月のおすすめ商品 & 読者特典

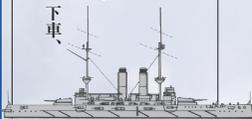
艦船模型250隻以上が収録された『三笠秘蔵連合艦隊艦隊コレクション(改訂版)』1,800円(税込)。今回はなんと、読者特典として提供いたします！

三笠売店『歴史街道』二〇二〇年一月号を見たと言うと、先着10名様に商品をプレゼント！大盤振る舞いのこのチャンスをお見逃しなく！



記念艦三笠

観覧料金	大人 6,000円 65歳以上 5,000円 高校生 3,000円 小中学生 無料
アクセス	京急横須賀中央駅もしくは JR横須賀駅より 三笠循環バスで「三笠公園」下車、 徒歩1分



TEL : 046 (822) 5225
http://www.kinenkan-mikasa.or.jp/
神奈川県横須賀市稲岡町 82-19